

平成30年8月30日
九州地方整備局
筑後川河川事務所

「平成30年度矢部川水系渇水調整協議会（第3回）」 における渇水調整事項の報告について

矢部川水系渇水調整協議会とは

当協議会は、矢部川水系の渇水時における関係利水者間の水利使用の調整を円滑に行い、もって合理的な水利使用の推進を図ることを目的とし、平成6年に設立されたものです。

1. 矢部川水系渇水調整協議会（第3回）で渇水調整された事項

- ① 日向神ダムの有効貯水量は、8月25日13時頃、0m³、貯水率0%となり、現在、底水150万m³の放流をしておりますが、降雨がなければ9月1日頃には底水が0m³になる予定。
- ② 今後も継続的に農業用水を必要とすることから、日向神ダムの放流設備で引き続き放流可能な貯留水（約70万m³：推定値）を継続して放流する。
- ③ 松瀬ダム（福岡県企業局管理）の有効貯水位より下の貯留水（底水）約14万m³を日向神ダムの約70万m³（推定値）放流した後、引き続き放流する。

以上の事由により、矢部川水系渇水調整協議会（第3回）は、各委員の了承を得て、文書持ち回りによる協議で開催に代えさせていただいております。
渇水調整事項については別添のとおりです。

参考：松瀬ダムは、福岡県企業局が所有する発電専用の重力式コンクリートダムです。
このダムは上流にある日向神ダム直下の大淵発電所からの放流水をここに貯留することで逆調整池の役割を果たしています。

《問い合わせ先》

矢部川水系渇水調整協議会 事務局
国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所
建設専門官 松田 英樹 0942-33-9222（内線401）

日向神ダム管理者：福岡県八女県土整備事務所日向神ダム管理出張所
出張所長 小原木 光寿 0943-47-3011

松瀬ダム担当者：福岡県企業局矢部川発電事務所
所長 白澤 弘文 0943-45-1111

矢部川水系渇水調整協議会 調整事項

平成30年8月30日

1. 基本方針

- ① 矢部川本川掛かりの農業用水の必要性から、日向神ダムの底水150万 m^3 が0 m^3 となった以降においては、放流可能な放流設備の位置まで貯留されている約70万 m^3 （推定値）について放流を継続するものとする。
- ② 日向神ダムの底水容量以下の水量約70万 m^3 （推定値）がなくなった場合は、下流の松瀬ダムの底水容量約14万 m^3 を放流する。
- ③ 上記容量等の放流方法については、福岡県において調整を図ることとする。
- ④ 福岡県は、速やかに調整を行い、協議会各委員に放流の時期及び方法等について直ちに連絡するものとする。

2. 放流の方法

日向神ダム及び松瀬ダムからの放流量は、前記の方針及び関係水利組合の取水調整結果に基づき決定する。

3. 対象地域

花宗用水組合、柳川みやま土木組合、花宗太田土木組合のかんがい地域とする。

4. 節水等の努力について

関係三水利組合は、日向神ダム及び松瀬ダムの放流量の有効活用に努め、クリーク、筑後川からの導水、花宗溜池と連携し、今後も更なる節水等の努力を行うものとする。